

授業展開例（国語総合）

1 校種・学年 高等学校 第1学年

2 単元名 いのちと心「心が生まれた惑星」

3 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は高等学校学習指導要領の国語総合「C 読むこと」のイ「文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること」を受けて設定している。本単元でつけたい力は、読み取りが恣意的にならないよう文脈をとらえ、語句や表現に注意して筆者の考えを間違えなく過不足なく読み取る力である。

本教材の「心が生まれた惑星」は、NHK取材班「心が生まれた惑星 NHK スペシャル 驚異の小宇宙 人体」という放送を基としている。内容は、「心」とは何か、「心」はどのようにして人間に宿り、文化・文明を作り上げたのかを語りかけるものとなっており、生徒の興味を引くものとなっている。文章構成は、論理的にわかりやすく構成されている。そのため、生徒が文脈を考えながら語句や表現を分析し、判断の根拠を明確にしなが、筆者の考えを読み進めることに適している。このように読み取ったことを、文章の要点を押さえ「要約」したり、同じ文章の中から関連する表現や内容を取り上げて「詳述」することにも適していると考え、本単元を設定した。

(2) 生徒観

現代文という科目について、「好き」という生徒が少ない。その理由として、「読書習慣を持たず、文章を読むことに面倒くささを感じる」というアンケート結果を得た。なぜ「面倒」なのか聞き取ったところ「部分と全体がとらえにくい」「語句の意味を理解しながらよんでいると前に進まない」「文脈がわからない」などと答えている。これらのことが苦手であるために、生徒は読書そのものが嫌いになっていると分析した。

(3) 指導観

文書の内容を的確に読ませるため、つぎの2つの工夫を行う。

- ① 文脈をとらえる工夫として、段落ごとの大きな意味内容とつながりを接続詞に注意をさせながら考えさせる。
- ② 段落ごとの意味内容の鍵となる「事実」とそこから筆者が「推測したこと」「考えたこと」を分けて読ませる。

4 単元の目標

- ・叙述に即して筆者の考えを的確に読み取り、人の心や愛について自分の考えを持つ。

5 指導計画（全5時間）

- ・全文の音読と段落構成を考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・段落ごとに叙述に即して筆者の考えを的確に読み取る・・・・・・・・・・・・ 2時間（本時は1/2）
- ・要約を書き発表する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

6 本時の展開

(1) 本時の目標

○教科の目標

- ・段落ごとに叙述に即して筆者の考えを的確に読み取るため、語句や表現に注意して「事実」と「推測したこと」を分けて読み取る。

○人権教育の視点

- ・自分の意見を他者と交換し、様々な考え方にふれ、多様な意見を尊重する姿勢を身に付ける。
手立て①ペアやグループワークを設定する。その際、考えを一つにまとめることに終始するのではなく、

どの点で同じ考えなのか、意見が違っているのはどの部分なのか、この点が異なっているから合意できない等、お互いを尊重しながら話し合う。

手立て②ペア・グループ活動後に、修正した自分の考えを表現する場面を設け、他者とのかわりでの自分の考えがよくなったことを実感させるワークシートの工夫を行う。

(2) 評価の観点

- ・語句や表現に注意して「事実」と「推測したこと」を区別して読み取り、ワークシートに記入している。
- ・「事実」と「推測したこと」をどのように区別したのか、それはなぜなのか読み取ったことをもとに話し合う際に、考えを一つにまとめることに終始するのではなく、どの点で同じ考えなのか、どの点で意見が違っているのか、どの点が異なっているから合意できないなどの発言がグループのメンバーが全員参加して行っている。

(3) 学習展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価の観点	評価方法
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 今日の学習内容の説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標を提示し、確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自が目標を確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言内容
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○一段落の読み取り <ul style="list-style-type: none"> 科学の進歩が・解き明かしたものの、まだ解き明かせないものについて筆者がどのように考えているのかを読み取る。 ○二段落の読み取りをグループで行う。 <ul style="list-style-type: none"> 「心」について読み取る。「心」とかっこ付きで書いてある部分と「」が付かない心が分けて書かれている。筆者はなぜ使い分けたのか。 心はどこにあると考えているのか。 なぜ、心が神秘的な世界だと考えているのか。 脳の働きの「事実」とそこから導き出した筆者の考えを分けて読み取る。 ○三段落の読み取りをグループで行う。 <ul style="list-style-type: none"> ネアンデルタール人について本で読んだり、学んだりした自分の知識をワークシートに記入する。 遺跡発掘でわかった具体的な「事実」の発見とは何か、それらの「事実」から筆者が推測した考えとはどのようなものかを読み取る。 ○四段落の読み取りをグループで行う。 <ul style="list-style-type: none"> 1号人骨の発見によって発見された「事実」とは何か、それらの「事実」から筆者が推測した考えとはどのようなものかを読み取る。 なぜ、ハンディキャップキャップの痕跡があるネアンデルタール人が生きのびることができたかと筆者が推測しているのかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○まず自分で考えワークシートに記入させる。その後、ペアで情報交換をする。 「まだ解き明かせないもの」については、本文中に具体的な記述がない。自分なりに考えてみる。その際、自分か読んだ本や経験をもとにして考えてみるよう指示を出す。 ○まず自分で考えワークシートに記入させたことを3～4人で活動させる。 回答できないグループや考えることに詰まっているグループにはヒントを出す。 ○まず自分で考えワークシートに記入させる。その後、3～4人グループで活動させる。 ○意見が違うなと思って話を最後まで聴く。聞いた上で、どの点が同じ意見で、どの点が意見が違うか、どこまで同意でき、どこから同意できないのか結論だけでなく理由を大切に話し合うよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「事実」と「推測したこと」を区別して読み取り、ワークシートに記入している。 ○相互の話を傾聴し、どの点で同じなのか、違っているのか、どこまで同意でき、どこから同意できない等の話し合いが全員参加して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート観察 ○話し合いの内容と態度の観察
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に筆者の考えを過不足なく読み取るために「事実」と「推測したこと」を分けて読み取ることが有効であったかグループで話し合わせる。 あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒のまとめ「事実」と「推測したこと」を分けて読み取ることができると筆者が何を根拠にどのように考えているのか、読み取りが正確になる。 		